



竹田家政学院  
五十一回 卒  
実行委員長

芳賀 浄子

松會とし子・鹿  
島武臣両歌手の  
至上のハイモ  
二一に酔いしれ  
胸が熱くなり、

その後懇親会に

母校、山本学園創立八十五周年記念同窓会「竹朋会」総会が、平成十八年十一月四日開催されました。私は当日の総会で実行委員長という大役を仰せつかり、総会ほか音楽祭、懇親会の運営に携わりました。

皆様のご協力とお力添えを戴き、無事大役を務めることができました。この場を借りて感謝と御礼を申し上げます。

総会には二百八十名もの大勢の会員にご参加頂き盛大に開催されました。しかし、当日になって若干の欠席者があったことは非常に残念で、これからの課題であらうかと思えます。

総会終了後の音楽会では、

入りようやく緊張もほぐれ、懐かしい先生方や友人達と学生時代の思い出話や近況報告などをしていううち、瞬く間に楽しい時間が過ぎていきました。

私にとって、母校は、原点で大切なところですよ。

母校で和裁を習得したことで今の自分があります。

お世話になった先生方に本当に感謝申し上げます。

後輩達におかれましては、その活躍は大変素晴らしいです。

インターハイや団体、全日本高校選手権大会等での輝かしい活躍に誇りを持って応援しております。これからも山本学園の益々の発展と、在校生の活躍をご祈念申し上げます。



会に  
加して



山本学園高  
五回 卒  
実行委員長

中川 佳洋

なり、様々な職種の話を飾り気なして聞ける情報交換の場だったと思います。学生時代の友人

高校を卒業して十六年の月日が過ぎようとしていますが、その中行われた同窓会では卒業以来会うことの無かった懐かしい顔ぶれが揃い、学生時代では考えられなかった酒を酌み交わし、時間を忘れた当時の思い出や現況などを話し、私自身、心に残る同窓会となりました。

この不況で、仕事や私生活共に苦渋を強いられ忙しい毎日をご過ごしている中、この友人との再会は励みに

人というのは、社会人生活、人間生活の中でまた特別な存在ではないでしょうか。この再会を大事にし、新しい情報ネットワークとしてさらに交流を深めていきたいと思っています。

最後に、この山本学園創立八十五周年記念同窓会「竹朋会」総会の開催にあたりご尽力を賜りました先生方をはじめ、関係の皆様にご感謝し、御礼申し上げます。

